

# ピーラー ユーザーズマニュアル

CL-E700シリーズ用

## 目次

使用上の注意.....	II-3
1 はじめに .....	II-4
1-1 外観図と名称 .....	II-4
2 基本仕様（ピーラー）.....	II-5
3 同梱品の確認 .....	II-6
4 ピーラーの設定.....	II-7
4-1 ピーラーの扉の開閉 .....	II-7
4-2 用紙のセット.....	II-7
4-3 ピーラーの設定.....	II-7
5 剥離位置の初期値.....	II-8
6 ピーラーに関するコマンド.....	II-9

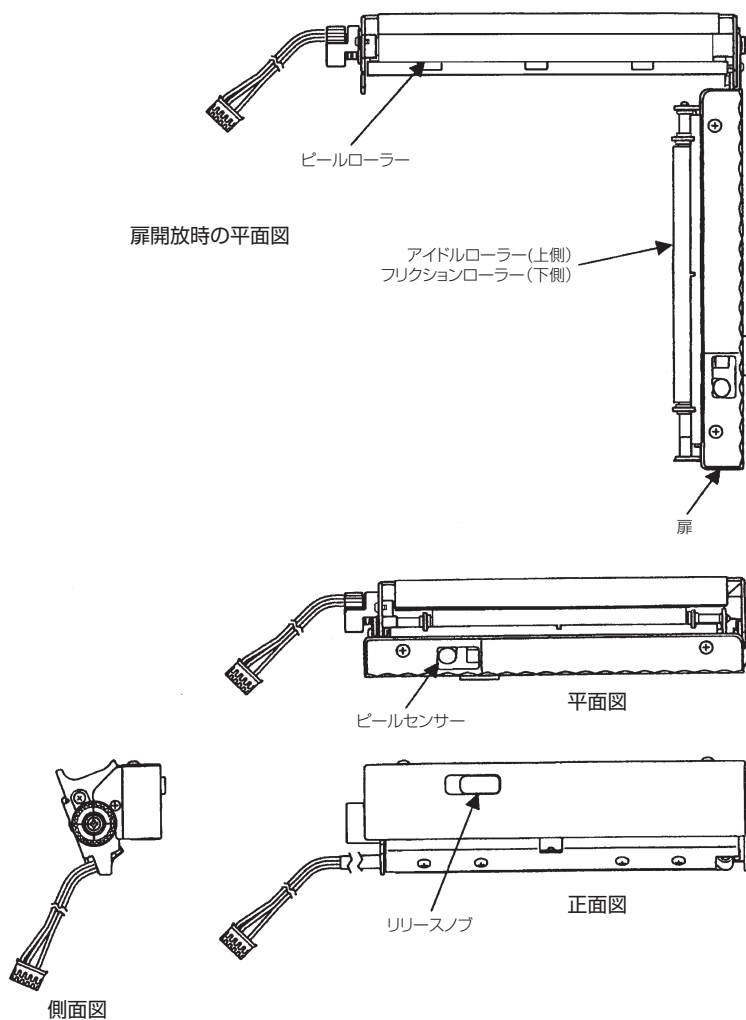
## 使用上の注意

- ピーラーに用紙をセットする時以外はピーラーの扉を閉じて使用してください。
- ピーラーの扉が開いた状態で扉の上下方向に強い力を加えると扉のヒンジが壊れる原因となりますのでご注意ください。
- 用紙は規格内のものを使用してください。規格外の用紙を使用すると台紙やラベルがピーラーに詰まる場合があります。
- ピーラーの各部についた汚れや粘着剤は薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の溶剤は、ローラーのゴムやプラスチックを変質させる原因となる場合がありますので使用しないでください。

# 1 はじめに

本ピーラーはラベル紙のラベルと台紙を自動的に剥離することができます。

## 1-1 外観図と名称



## 2 基本仕様（ピーラー）

台紙幅 (a) : 25.4 – 118 mm (1 – 4.65 in)

ラベル長さ最小 (b) : 25.4 mm (1 in)

ラベル : 上質紙、 $t=0.09$  mm (0.0035 in) (粘着層を含む)、内巻きロールにおいて

ラベル長さ最大 : 120 mm (4.72 in) 程度

ただし、出口付近の環境や用紙の種類によって変わります。

ラベル最小幅 (c) : 用紙出口正面より見て、台紙の左端より 16 – 22 mm (0.63 – 0.87 in) にラベルがあること。

ラベル最大幅 : 台紙より狭いこと

ラベル厚さ : 0.17 mm (0.0067 in) 以下

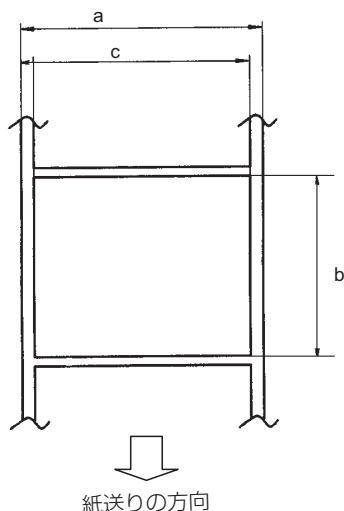
台紙厚さ : 0.07 mm (0.0027 in) 以下

ロール紙内径 : 76 mm (3 in) 以上

耐久性 : 20 km (上記の用紙仕様において)

剥離位置精度 :  $\pm 1.5$  mm

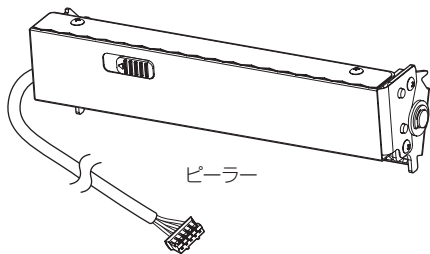
剥離位置は用紙の種類、ロールの大きさ、インクリボンの大きさなどにより変動しますので、用紙毎に最適な値に設定してお使いください。



### 3 同梱品の確認

次の用品がすべて梱包箱に入っていることを確認してください。不足のものがあればお買い求めの販売店へご連絡ください。

ピーラー.....	1 式
ネジ.....	2 本
取付ガイド.....	1 冊
ユーザズマニュアル.....	1 冊



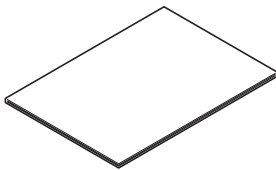
ピーラー



ネジ(2)



取付ガイド



ユーザズマニュアル

## 4 ピーラーの設定

### 4-1 ピーラーの扉の開閉

#### ① 開け方

ピーラーのリリースノブを指で左方向にスライドさせるとピーラーの扉が開きます。

#### ② 閉じ方

ピーラーの扉の左端を“カチッ”というまで押し、扉を閉めます。

### 4-2 用紙のセット

① 用紙先端部のラベルを 12 cm (5 インチ) 以上はがし、最初のラベルがピールセンサーに掛かるようにセットし、プリントヘッドを閉じます。

② ピーラーの扉を開き、台紙をピールローラーと扉の間に入れ、扉を閉めます。

### 4-3 ピーラーの設定

本ピーラーを使用するためには、プリンタ本体のバックアップメモリに記憶されている各種設定項目のピーラー機能を ON にする必要があります。

バックアップメモリのピーラー機能の設定変更は、コントロールパネルから操作するプリンタ環境設定モードの中で行うか、コマンド STX KD で行います。

CL-E700 シリーズ は、「オプション自動設定」メニューが工場出荷時 “On” の状態に設定されています。On の状態のままで、本ピーラーユニットをプリンタ本体に取り付けると「機能選択」メニューが自動的に“剥離”の設定となります。もし Off の状態の場合は、下記手順で“剥離”を選択してください。(メニュー設定の詳細は各プリンタの取扱説明書をご参照ください。)

#### ■ メニュー設定モードで「剥離機能」を選択する

- ① コントロールパネル上に“印刷可能”と表示されている状態で設定キーを押し、「メニュー設定モード」に入ります。
- ② フィードキーを2回押し、次にストップキーを押します。
- ③ フィードキーを押し「機能選択」メニューに入ります。
- ④ ストップキーを押すと、現在設定されている機能選択項目が表示されます。
- ⑤ フィードキーを数回押し“剥離”を選択します。
- ⑥ ストップキーを押すと、設定した内容がメモリーに一時保存されます。電源を切った場合、元の機能選択項目に戻ります。もし、永久に保存したい場合は、プリンタの取扱説明書(2章)の「設定保存」操作を行ってください。

【注】「剥離」機能の設定後、フィードキーを押し、用紙を剥離位置まで送ってください。その後は印刷が終了後に用紙が剥離位置まで自動的に送られ、用紙の剥離ができます。

## 5 剥離位置の初期値

電源投入時またはリセット時、「剥離」機能が選択されている場合は、設定されているプリンタのコマンドセットにかかわらず、用紙は各基準点から剥離の初期位置（フィード量初期値）まで自動的に送られます。剥離位置の微調整を行う場合は、使用しているパソコンからプリンタへコマンド STX f または STX Kf を送ります。この場合、設定されている各コマンドの初期値が剥離位置のゼロ位置となり、設定されたコマンドのパラメーターの値によって剥離位置が前後に移動します。（詳細はコマンドリファレンスを参照してください。）

### <各コマンドの初期値>

コマンドセット DM4 の場合：68.6 mm（2.70 インチ）

コマンドセット DMI の場合：12.7 mm（0.50 インチ）

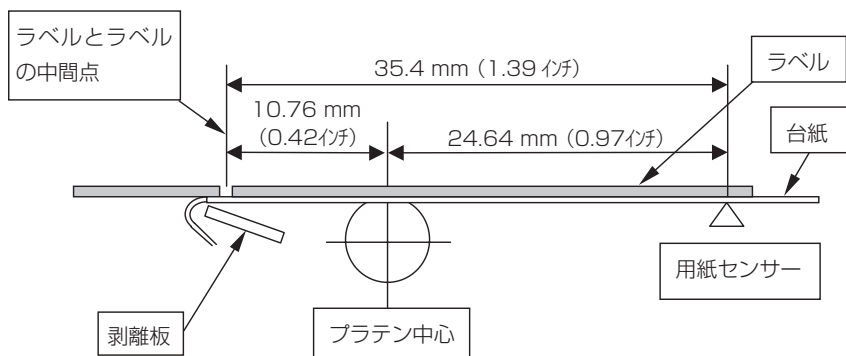
コマンドセット DPP の場合：37.1 mm（1.46 インチ）

### <微調整の例>

STX f (nnn)

コマンドセットが DM4 にセットされている場合、剥離位置をゼロ位置から前方へ 0.01 インチ移動させます。この場合のコマンドは、STX f (271) となります。

用紙センサーまたはプラテンセンターから剥離位置までの距離は下記の数値となります。



【注】数値は参考値です。



## 6 ピーラーに関するコマンド

本ピーラーに関するコマンドを以下に記述します。  
(各コマンドの詳細については、コマンドリファレンスを参照してください。)

### 剥離位置指定コマンド STX f、STX Kf

基準点から剥離位置までのフィード量を設定します。

### ソフトウェアスイッチ設定コマンド STX V

プリンタの電源が ON の状態で、本コマンドをプリンタに送ると、剥離機能を一時的に ON / OFF することができます。

【注】剥離機能が選択され、剥離位置にラベルがある時は、フィードキーを押しても、ラベルを取り除かない限り、用紙は送られません。